

下地調整用プレミックスモルタル

イビモルファイラー

ポルトランドセメントと厳選した硬質骨材を基材とした、プレミックスモルタルとして、優れた性能を発揮します。

特 長

- ☆内外部を問わず、広範囲な下地材としてご使用頂けます。
- ☆最適な骨材配合であり、イビフレックスの混入によるポリマーセメントモルタルとして、耐久性に優れ、長期にわたり高い接着力を保ちます。
- ☆工場で製造管理されたプレミックスモルタルですので、安定した品質が確保されており、現場での混練り作業も容易なため、作業効率向上に貢献できます。

標 準 仕 様

荷姿	適応部位	適応下地	適応仕上	標準仕様	塗厚	標準塗面積
20kg/袋	内壁・外壁 内床	コンクリート ブロック 貼り物下地	仕上塗材 内装床仕上材	清水 4ℓ + イビフレックス 2ℓ	0.5~3.0mm	約15㎡ (1mm厚)

- 床面で使用する場合、露出仕上げは避けて下さい。
- 上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。

性 能

試験項目	JIS A 6916 : 2014 品質基準		試験結果
	C-1		
軟度変化 (%)	0±20 以下		4.9
耐ひび割れ性	ひび割れがないこと		ひび割れなし
耐衝撃性	ひび割れ及びはがれがないこと		ひび割れ・はがれなし
付着強さ (N/mm ²)	標準養生	0.7 以上	3.1
	低温養生	0.5 以上	0.9
吸水量 (g)	2.0 以下		0.8
仕上材が複層仕上塗材の場合の 耐久性 (N/mm ²)	外観	割れ・膨れ及びはがれがないこと	割れ・膨れ・はがれなし
	付着力	0.7 以上	1.0

※上記試験結果は J I S 規格に準じた試験方法による測定値であり、保証値ではありません。

施工方法【コンクリート・ブロック面】

① 下地の点検・清掃

① 下地を健全な状態にして下さい。

脆弱層、レイトンス、油分、剥離剤、汚れ等、モルタルの付着に阻害するものは除去して下さい。

(塗装合板にて型枠を施工された場合は、付着不良になりますので、高圧洗浄機などによる清掃を推奨します。)

【注意】高強度、高性能コンクリートは、「JASS 15 左官工事」指針通り、表面層をサンダー掛け等で「目荒らし」を行って表層の甘皮・レイトンスを除去し、汚れの清掃後、高圧洗浄をして下さい。
テスト塗り後、性能を十分に確認して下さい。

② 下地の処理

① 清掃後、イビフレックスの3倍希釈液を刷毛等で均一に塗布し、乾燥させて下さい。

※床面は4倍希釈液を塗布

③ 混練り

① イビモルファイラー(20kg/1袋) に対して清水4ℓとイビフレックス2ℓを混入し、ハンドミキサー等で十分に攪拌して下さい。

※練り足し、水を加えての練り戻しは避けて下さい。

④ 塗り付け

① コテ圧を十分にかけしごき塗りを行い、追っかけにて所定の塗り厚に塗りつけて下さい。

② 仕上げの種類によって、金ごて押え、木ごて押え、刷毛引き等をして下さい。

③ 全面塗りの場合は、1回の塗り厚は0.5mm～1mmまでとして下さい。それ以上の塗り厚の場合は、2回以上に分けて1日以上養生期間をおいて下さい。

⑤ 養生

① 通風や直射日光を避け、必要に応じてシートを掛け等の養生をして下さい。

② 乾燥の激しい場合には、塗り付け翌日に散水養生をして下さい。

③ 次工程までの工程間隔は、夏季7日以上、冬季14日以上を基準として下さい。

⚠ 使用上の注意

1. 気温が3℃以下の時には使用しないで下さい。
(気象条件(気温・湿度・日照・風速)に留意して下さい。)
2. 混練りに使用する水は、水道水等の清水を使用して下さい。
3. モルタルは加水後1時間以内に使い切して下さい。
4. 粉袋の保管は室内の湿気の少ない場所に保管して下さい。
5. 開封後は使い切るか、残りは空気・湿気を遮断して下さい。
6. 指定材料以外の材料の混入は避けて下さい。
7. 使用後の器具は速やかに水で洗浄して下さい。
8. 製品は製造年月日を確認し、6ヶ月以内に使用して下さい。

記載内容は資料・情報・データに基づいて作成したものであり、実際の現場において結果を保証するものではありません。
また、使用に際して適切な使用方法と安全対策に注意の上、お取り扱い下さい。
内容は、断り無く変更する場合がありますので、ご了承下さい。

2016.1